

平成 20 年 1 月 29 日

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会

会長 宮田温巳 殿

白馬村長 太 田 紘 熙

### 「村長発言に対する抗議と要請」に対する回答

貴会より抗議と要請のありました件につきまして、一部に不適切な表現がありますので補足修正して私の考え方を述べさせていただきます。

(12 月定例会挨拶)

ごみ連協の皆様からこの活断層の存在は公表されているものの、これから出ている副断層が建設候補地に繋がっているか。また、活断層の位置が建設予定地の直下にあるのか。村民の不安に答えられないと、話の進展が望めないのでは調査を進めることはよろしいとの進言をいただき、

(補足修正)

私としてはごみ連協の代表の皆様との意見交換の中で、公式記録としての確認はなかったもののこう着状態にある活断層の是非について、この状況から前進するに調査を進めることへのご理解いただけたものと判断をし、12 月定例会の冒頭挨拶で「ごみ連協の皆様から話の進展が望めないのでは調査を進めることはよろしいとの進言をいただき、」との発言をいたしました。

この発言について、ごみ連協の皆様から連協の総意でないとの抗議を受け、当時の状況を判断するに前述のとおりごみ連協の総意として捉えるには不十分でありました。従って懇談の内容から調査に関する発言はあったものの、進言をいただきとの表現は不適切であったと考えます。更にごみ連協の皆様から提出された調査反対の文書についての関連性に言及しなかったことにつきまして、言葉足らずであったと思っております。

しかしながら、調査を進めるに至った経緯はごみ連協の皆様の発言によるものではなく、住民の代表である白馬村議会の調査を早急を実施すべしとの議会総意に基づく要望や、広域連合議会の審議経過など総合的に判断し、正副広域連合長との協議の中で、住民の皆様 of いくつかある不安に対して一つづつ取り除くために、学術的調査を実施することに決定したものであります。

との発言に修正いたします。

以上、私の発言に対する抗議と要請に関しての考えを述べさせていただきました。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。